



盛りだくさんな一日 2/12

授業参観

各学期毎に公開している授業参観。一学期、二学期、そして今回と較べていたと、子どもたちの成長の跡を感じ取っていただけかと思いません。日々の歩みは小さくとも、積み重ねた結果は大きいものです。一時間毎の授業、一日一日の学校・家庭生活、大切にしたいものです。

学校評価委員会

学校評価委員として学校評議員さんとPTA会長さんにお集まりいただきました。年末に行った学校評価結果と今後の対応を検討していただき、ご意見をいただきました。結果については、今月末には保護者の皆様にお知らせできると思います。



PTA役員会

夜には役員会が開かれ、今年度の反省と次年度への見通しが話し合われました。今年度の活動に感謝すると共に次年度活動に期待をしています。



学力テスト 2/4

全学年とも四日は国語、五日は算数の学力テストを実施しました。

日頃のテストと違って、今回の学力テストは出題範囲が広く、定着率や実力が問われます。全国との比較分析のため、結果が届くには日数がかかりますが、回答の様子からは、もう少し努力を要するようです。

縄跳び大会 2/13

これまでの個人記録とは別に、この日は、縦割りのあじさい班同士で、長縄の回数を競いました。

回数を増やそうとリズムを速くすればつかえやすくなり、回し手と跳び手の息が合うようバランスがとれたチームが優勝しました。

こんな所にも「自立と共生」が当てはまることを話して大会を締めくくりました。

来入見 一日入学 2/5

平成二十六年度は、十五名の新入生が入学予定です。

現一、二年生に迎えられ、お絵かきをしたりプレゼントを受け取ったりして楽しいひとときを過ごしました。

また、保護者の方には子どもたちの教育に共に携わっていく上での協力と準備をお願いしました。



学校評価から(その三)

先月号では保護者による評価結果を中心に取り上げ、今後の取り組み姿勢を示した。前回の保護者同様概ね良い評価結果ではあるが、今回は児童からの負の評価について取り上げていきたい。

児童の評価の中で最も低評価が多かったのは「宿題は、忘れずにやっていますか」(低学年)「自主学習の進め方などが身につけていますか」(中・高学年)という学習に関する設問に対し、六名の児童が2をつけていた(低評価の割合10%)。自分を振り返る設問に正直に答えられた結果かと思われる。

宿題は、学習内容の定着は無論のことと家庭学習の習慣化も意図して出されている。 習い事で忙しい中きちんとやってくる児童もいれば、ゲーム等に費やす時間はあっても宿題を忘れる児童

校長のつぶやき

もおり、量を含めた宿題の扱いに、担任は頭を悩ましています。ご家庭でもご一考願いたい。

一方、学習の進め方がわからないということは憂慮すべきことである。**生涯学習社会**を生きていく基礎はなんとしても身につけさせたい。**授業形態の工夫を図り、調べ学習が進められるようにしたい。**

次に低評価が見られたのは、「学校の行き帰り、安全に登下校できていますか」という設問で、六名の児童が2をつけていた(低評価の割合10%)。4をつけている児童も多く、評価平均値は高かったが、記述欄には班登校がきちんとできていないということが挙げられていた。**安全ボランティアの方々への感謝を含めて、集団と個のあり方を重ねて指導していきたい。**

低評価の三番目は、「学習や運動は、めあ

てをきめていっしょうけんめい取り組んでいますか」という設問で、五名の児童が2をつけていた(低評価の割合8%)。記述欄を見ると、「何をすればいいかわからない」「計画的にはできていない」「めあてがない」といったことが書かれていた。将来の夢と同様に、希望やそこに至る道筋を抱けない受け身の姿勢がそこにある。**知的好奇心を刺激すると共に「できた・わかった」を体感させ自信に繋げたい。**

前述のように、設問が自分を振り返るものなので自己反省の結果と言えるが、まさに「子は親(教師)の鏡」。子どもの現状から取り組むべき課題が見えてくる。年度末そして新年度の指導へと生かしていきたい。

